

ヒューマン・パワーアップ・プロジェクト（HPP）

公募型人間力育成奨励金

2025年度募集要項

1. 目的

激動する社会で活躍するためには、講義による知識の修得にプラスして、チームワーク力・構想力・実行力等の多様な人間力・社会的基礎力を必要とする。人間力や社会的基礎力の形成には、ボランティア活動・地域活動・サークル活動・学園祭実行委員会活動等の諸活動に積極的に参加し、豊富な実践を経験することが有効である。これらの力を伸長させることを目的として、学生の自主的な活動の支援のために、公募型人間力育成奨励金（Human Power-Up Project）を募集する。

2. 奨励金対象及び交付内容

- ◆交付対象（交付対象事業は、原則として交付決定日から2026年3月末日までに実施完了するもの。）
 - ・サークル、同好会（学友会が公認しているもの）
 - ・その他のグループ（同じテーマに関心を持つ者。但し、ゼミ活動に対しては助成金の対象としない）
 - ・グループには学外者を含めてもよいが、全体の3分の1以下とすること。

（注意事項）

- ①営利を目的とする事業は原則として対象としないが、学生委員会の審議により決定する。
- ②政治・宗教活動を目的とする事業グループは対象としない。
- ③学内の他の補助金を受給している場合は対象としない。
- ④同じ年度内の、同一と認められる団体の、同一または継続的と認められる事業は対象としない。
- ⑤同じ年度内の、一つの団体が申請できる件数は1件とする。

- ◆交付内容

対象となるグループが事業を実施するために必要な経費に対して、奨励金を交付する。以下の2つのコースから選択する。

- ①Aコース：2名以上のグループで、奨励金額3万円以上、5万円未満とする。（書類審査のみ）
- ②Bコース：原則5名以上のグループで、奨励金額は5万円以上、20万円以下とする。（書類審査及び公開プレゼンテーション）

3. 助成対象経費

事業を実施するために必要となる経費で、概ね次のとおりである。

①人件費関係	講師謝金、準備等に伴う部外者報償	④通信費関係	郵便料、通信料等
②旅費関係	宿泊、交通費、通行料	⑤物件費関係	一般購入、支払い経費
③印刷製本費関係	印刷製本	⑥その他費用	上記に含まれない費用

※奨励金をもって購入した物品等は、期間満了後は原則大学に帰属するものとする。

※人件費や設備費、賃借料や光熱費など、グループ自体の運営に要する費用は除く。

※飲食に関する費用については、活動に本質的に必要な場合は認めるものとする。

※移動手段は公共交通機関とする。

※サークルについては物件費等の学友会サークル予算に申請できるものは対象としない。

4. 申し込みについて

- ①採用回数によって区分を選択する。（Bコースのみ）
 - ・区分Ⅰ：新規又は過去に申請したが不採択の事業
 - ・区分Ⅱ：過去に採用された事業
 - ・区分Ⅲ：過去に4回以上採用された事業
- ②事業の企画を支持する教職員に、スーパーバイザー（顧問）を依頼すること。（原則：サークル・同好会は顧問、その他のグループは教職員）
- ③所定の申込書を、学生課へ提出する。（必要事項を記入し、スーパーバイザーの署名もしくは記名・押印をもらった上で提出すること）

締め切り
6月2日（月）
12時まで

5. 審査方法

学生委員会を中心とする審査委員会で、応募書類による書類審査を行う。

1次審査・・・応募書類による書類審査（Aコース、Bコース共通） 2次審査・・・公開プレゼンテーション、事業説明（Bコースのみ）

※2次審査（プレゼン）に向けては「スーパーバイザー」から必ず指導を受けること。

※Bコース区分Ⅱの審査は区分Ⅰの事業より厳しく、区分Ⅲは、独自性と発展性を重視するので、区分Ⅱよりさらに厳しくなります。

- ◆審査スケジュール

受付 6/2（月） 12時まで	1次審査 書類審査	2次審査 公開プレゼン 【Bコース】 6/11（水）	採択事業発表 6/16（月）	進捗確認随時 ※3ヶ月毎に 進捗状況報告書 の提出（必須）	① 報告書 ② 報告ポスター 提出 3/6（金）迄 ※場合によって発表を依頼する	最終報告会 【Bコース】 2026年 4月上旬
-----------------------	--------------	-------------------------------------	-------------------	--	---	----------------------------------

- ※1 スーパーバイザーに十分に指導を受けた上で提出すること。
- ※2 審査結果は、当該理由を付して申請グループ代表者に文書で通知する。
- ※3 A・Bコースとも年度末の活動状況と収支状況（領収書は予算執行何へ添付）の報告書および活動報告ポスターを作成すること。
- ※4 Bコースは最終報告会で発表を行う。Aコースは場合によって発表を依頼することがある。
- ※5 3月6日（金）までに活動が終了しない場合は、学生課へ報告すること。

- ◆選考基準

①実現可能性	明確な事業目的、成果や効果への期待、無理のない事業・活動構成か、実施体制の整備	④コミュニケーション能力の発揮	大学内外とも密接に連携して事業を遂行できるか
②継続性・発展性	活動が広がる可能性、幅広い活動への意欲や工夫	⑤大学内外の活性化への貢献	積極的、主体的な行動で地域活性化への貢献性、大学の存在感向上に対する貢献度
③独自性・発展性	新しい発想や視点、内容、方向性	⑥予算使用の妥当性	

6. 奨励金の返還

次の場合は、奨励金の全額または一部を返還させることや、次年度の申請を認めないこともある。

- ①奨励金対象となる事業を実施できなくなったとき。（止むを得ない場合は除く）
- ②正当な理由なく、奨励金対象となる事業を大幅に変更したとき。
- ③報告が不十分なとき。
- ④「スーパーバイザー」への報告・連絡・相談を怠ったとき。
- ⑤その他、本学の名誉を著しく傷つけることがあったとき。

要項・申込書ダウンロード
<https://www.nagaokauniv.ac.jp/campuslife/human-powerup-project/>



7. 申し込み・問い合わせ

応募の内容や申込書の記載方法などについての質問や事前相談を受け付ける。下記教職員まで問い合わせること。

学生委員 【牧野、広田、米山、坂井、長谷川、石綿、佐藤、石塚】

8. 過去の採択実績

(A・B:HPP、S:HPP スタートアップ)

【2022 年度】

コース	団体名	事業名	申請額	執行額	明細・内訳
A	写真サークル	コンテスト出展を県内の 魅力発信につなげようプロジェクト	48,348	44,265	・旅費 ・広告費 ・インク代 ・通信費 ・入園料 ・用紙代
A	茶道サークル 茶事参加グループ	茶事の流れを学ぶ	50,000	41,448	・講師謝金 ・物品代 ・施設使用料 ・交通費
B	茶道サークル 裏千家学生セミナー 参加グループ	裏千家学生セミナーへの参加	200,000	85,248	・受講料 ・交通費等 ・宿泊費
B	軽音楽サークル	卒業ライブ	194,760	194,760	・物品代

【写真サークル】

【茶道サークル茶事参加グループ】

【茶道サークル裏千家学生セミナー参加グループ】

【軽音楽サークル】



【2023 年度】

コース	団体名	事業名	申請額	明細・内訳
A	茶道サークル	茶事	42,322	・講師謝金 ・物品代 ・施設使用料 ・交通費
A	バレーボールサークル	バレーボールサークル Ver. 2	49,640	・交通費 ・物品代
A	珈琲紅茶同好会	オリジナルブレンドの作成	49,000	・物品代
B	軽音楽サークル	佐渡野外ライブ「響」出演	200,000	・交通費 ・物品代
B	軽音楽サークル	佐渡軽音楽支援事業 J-PROJECT 主催ライブ出演	122,000	・交通費 ・物品代
B	長岡再生会	里山再生プロジェクト	81,200	・交通費 ・物品代
S	ちびっことあそび隊！！	太鼓であそぼう！！	57,200	・交通費 ・物品代

【茶道サークル】

【バレーボールサークル】

【長岡再生会】

【ちびっことあそび隊！！】



【2024 年度】

コース	団体名	事業名	申請額	明細・内訳
A	茶道サークル	呈茶	46,614	・物品代
A	茶道サークル	茶事	43,598	・講師謝金 ・物品代 ・施設使用料 ・交通費
A	ヨガ同好会	ヨガで健康づくり	49,000	・講師謝金 ・交通費 ・物品代
B	管楽同好会	学内コンサート出演	200,000	・物品代
B	軽音楽サークル	佐渡軽音楽支援事業 J-PROJECT 主催ライブ	200,000	・交通費 ・物品代
S	マーケティングサークル	マーケティングを学び、商品開発に挑戦する	94,000	・交通費 ・広告費

【茶道サークル】

【ヨガ同好会】

【マーケティングサークル】

